



平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月4日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 丸栄
 コード番号 8245 URL <http://www.maruei.ne.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 野原 太二雄
 (氏名) 渡邊 克哉

TEL 052-264-1211

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第2四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	9,625	△8.0	△185	—	△241	—	△476	—
28年2月期第2四半期	10,461	△7.3	△96	—	△159	—	△47	—

(注) 包括利益 29年2月期第2四半期 △286百万円 (—%) 28年2月期第2四半期 331百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	△3.67	—
28年2月期第2四半期	△0.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第2四半期	42,786	19,531	45.6
28年2月期	43,423	19,817	45.6

(参考) 自己資本 29年2月期第2四半期 19,531百万円 28年2月期 19,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年2月期	—	0.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,300	△7.2	△450	—	△590	—	△860	—	△6.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期2Q	130,368,887 株	28年2月期	130,368,887 株
② 期末自己株式数	29年2月期2Q	545,623 株	28年2月期	540,959 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期2Q	129,824,877 株	28年2月期2Q	129,836,831 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 売上高の明細(提出会社 単独)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな景気の回復基調が続いているものの、年初からの円高進行を受けて企業収益の改善に足踏みが見られることや、不安定な欧州・中東情勢、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化など、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

こうした中、当社グループの主たる事業分野であります百貨店業界におきましては、根強い節約志向による消費マインドの低下に加え、堅調であったインバウンド売上がマイナス基調に転ずるなど、全国的に苦戦を強いられました。

こうした状況下、当社は新テナントの導入や新規催事、イベントの開催などにより、集客力の向上を図り、売上の確保に努めてまいりましたが、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、96億2千5百万円（前年同期比92.0%）となり、引き続き更なる営業費用の削減に努めたものの営業損失1億8千5百万円（前年同期は営業損失9千6百万円）、経常損失2億4千1百万円（前年同期は経常損失1億5千9百万円）となり、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失は4億7千6百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4千7百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①百貨店業

百貨店業におきましては、大型テナントの導入を進め、全館での相乗効果を高めるためのプロモーション強化に努めました。また、各地の物産展を積極的に開催するなど、集客力の向上にも取り組んでまいりましたが、不安定な気候の影響で婦人服など衣料品の不振が続き、百貨店業の売上高は82億5千2百万円（前年同期比90.7%）となりました。利益面につきましても、営業損失2億7千8百万円（前年同期は営業損失1億6千6百万円）という結果となりました。

②不動産賃貸業

不動産賃貸業におきましては、空室率の改善に取り組みましたが、売上高は8億1百万円（前年同期比95.4%）、営業利益は2億6千2百万円（前年同期比104.5%）となりました。

③その他

その他の事業におきましては、運送業、清掃業及び百貨店店舗内において友の会事業を運営しており、売上高は、5億7千2百万円（前年同期比109.6%）、営業損失は4百万円（前年同期は営業損失2千1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億3千6百万円減少し、427億8千6百万円となりました。これは流動資産が3億3千万円減少し、固定資産が3億3百万円減少したことなどによります。流動資産の減少については、現金及び預金が1億4千7百万円減少し、受取手形及び売掛金が6千4百万円減少及び商品が5千6百万円減少したことなどによります。固定資産の減少については、有形固定資産が除却及び減価償却等により2億7千8百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億5千万円減少し、232億5千5百万円となりました。これは流動負債が1億8千2百万円増加し、固定負債が5億3千2百万円減少したことによります。流動負債の増加については、短期借入金が増加し、支払手形及び買掛金が3億1千2百万円減少し、1年内償還予定の社債が1億5百万円減少したことなどによります。固定負債の減少については、長期借入金が増加し、再評価に係る繰延税金負債が1億8千1百万円減少したことなどによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億8千6百万円減少し、195億3千1百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失4億7千6百万円により利益剰余金が減少し、再評価に係る繰延税金負債の取崩しにより土地再評価差額金が増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、平成28年4月14日に公表いたしました「平成28年2月期決算短信」での第2四半期(累計)の業績予想と実績値に差異が生じました。また、通期の業績予想につきましても第2四半期(累計)の結果を踏まえ予想値を変更いたしております。詳細につきましては、本日公表しております「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

(4) 追加情報

(法人税等の税率の変更による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率は、一時差異等に係る解消時期に応じて以下のとおりとなります。

平成28年3月1日から平成29年2月28日まで	32.8%
平成29年3月1日から平成31年2月28日まで	30.7%
平成31年3月1日以降	30.5%

この変更により、固定負債の繰延税金負債が60百万円、再評価に係る繰延税金負債が181百万円、法人税等調整額が60百万円それぞれ減少し、その他有価証券評価差額金が0百万円、土地再評価差額金が181百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,136	989
受取手形及び売掛金	402	337
商品	406	349
その他	564	502
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	2,505	2,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,150	6,884
土地	30,433	30,433
その他(純額)	196	184
有形固定資産合計	37,781	37,503
無形固定資産		
のれん	1,091	1,050
その他	68	67
無形固定資産合計	1,160	1,117
投資その他の資産		
投資有価証券	1,692	1,717
その他	280	271
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,972	1,989
固定資産合計	40,913	40,610
繰延資産	4	1
資産合計	43,423	42,786
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,505	1,193
短期借入金	2,400	2,800
1年内返済予定の長期借入金	3,512	3,538
1年内償還予定の社債	165	60
未使用商品券等引当金	217	206
その他の引当金	33	33
その他	2,294	2,478
流動負債合計	10,127	10,309
固定負債		
長期借入金	6,399	6,117
再評価に係る繰延税金負債	3,636	3,454
退職給付に係る負債	461	463
その他	2,981	2,909
固定負債合計	13,478	12,945
負債合計	23,605	23,255

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,937	9,937
資本剰余金	2,290	2,290
利益剰余金	23	△453
自己株式	△117	△117
株主資本合計	12,134	11,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	32
土地再評価差額金	7,691	7,872
退職給付に係る調整累計額	△34	△30
その他の包括利益累計額合計	7,683	7,874
純資産合計	19,817	19,531
負債純資産合計	43,423	42,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	10,461	9,625
売上原価	8,287	7,628
売上総利益	2,174	1,997
販売費及び一般管理費	2,271	2,182
営業損失(△)	△96	△185
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	6	21
持分法による投資利益	34	27
売場改装協力金	12	1
その他	10	8
営業外収益合計	64	60
営業外費用		
支払利息	96	89
その他	31	27
営業外費用合計	128	116
経常損失(△)	△159	△241
特別利益		
投資有価証券売却益	51	0
特別利益合計	51	0
特別損失		
固定資産除却損	33	288
特別損失合計	33	288
税金等調整前四半期純損失(△)	△141	△530
法人税等	△94	△53
四半期純損失(△)	△47	△476
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△47	△476

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
四半期純損失(△)	△47	△476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	5
土地再評価差額金	362	181
退職給付に係る調整額	18	3
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	379	190
四半期包括利益	331	△286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	331	△286
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△141	△530
減価償却費	361	325
のれん償却額	41	41
受取利息及び受取配当金	△8	△22
支払利息	96	89
持分法による投資損益(△は益)	△34	△27
固定資産除却損	33	288
投資有価証券売却損益(△は益)	△51	△0
売上債権の増減額(△は増加)	79	64
たな卸資産の増減額(△は増加)	37	56
仕入債務の増減額(△は減少)	△84	△227
その他	△80	1
小計	249	59
利息及び配当金の受取額	16	28
利息の支払額	△103	△91
法人税等の支払額	△6	△7
営業活動によるキャッシュ・フロー	157	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	911	5
投資有価証券の払戻による収入	52	0
有形固定資産の取得による支出	△161	△162
有形固定資産の除却による支出	△11	△4
貸付金の回収による収入	0	0
その他	0	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	791	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	400	400
長期借入れによる収入	1,100	1,700
長期借入金の返済による支出	△2,162	△1,954
社債の償還による支出	△105	△105
その他	△24	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△792	18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	156	△135
現金及び現金同等物の期首残高	1,101	1,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,257	983

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,099	840	9,939	522	10,461	—	10,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	71	77	259	337	△337	—
計	9,105	911	10,017	781	10,799	△337	10,461
セグメント利益又は損失(△)	△166	251	84	△21	62	△158	△96

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△158百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,252	801	9,053	572	9,625	—	9,625
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	72	77	381	459	△459	—
計	8,257	873	9,131	953	10,085	△459	9,625
セグメント利益又は損失(△)	△278	262	△15	△4	△20	△164	△185

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△164百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△165百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 売上高の明細(提出会社 単独)

	当第2四半期累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)		
	売上高(百万円)	構成比(%)	前年比(%)
紳士服・洋品	282	3.2	131.5
婦人服・洋品	1,867	21.3	73.3
子供服・洋品	200	2.3	99.3
その他衣料品	306	3.5	90.8
(衣料品計)	2,657	30.3	80.5
身のまわり品	503	5.8	72.6
化粧品	437	5.0	102.9
美術・宝飾・貴金属	1,058	12.1	191.7
その他雑貨	314	3.6	54.4
(雑貨計)	1,809	20.7	116.4
家具	134	1.5	79.5
家庭用品・家電	87	1.0	94.5
(家庭用品計)	221	2.5	84.8
食料品	2,447	27.9	93.7
食堂喫茶	320	3.7	87.9
サービス	104	1.2	82.1
その他	693	7.9	100.0
合計	8,757	100.0	91.1